

年頭のご挨拶

神奈川県歯科医師国民健康保険組合

理事長 小澤 孜



新年おめでとうございます。令和2年の年頭にあたり、被保険者の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年5月1日徳仁天皇が即位され、令和時代の幕開けとなりました。我が国の人口の高齢化が進み、第二次大戦後の団塊の世代と言われる1947年から1949年生まれの国民が後期高齢者となり始める令和4年度を控え、「全世代型社会保障」を柱に検討されております。医療では後期高齢者の自己負担割合を2割へ引き上げることや軽症者用の処方薬の自己負担増など、年金では厚生年金の加入義務がない中小企業のパートらに対象を広げて老後の生活保障を高めることや、受給開

始年齢の70歳超への選択肢拡大が論点となる見通しであります。本組合では、第三種組合員数が増加傾向にあり、元年度上半期では165名増(2.6%増)となっており、これまで減少傾向にありました被保険者総数も45名増の16,617人とプラスに転じております。

皆様方からお支払いいただく保険料は、医療給付分は平成28年度月額保険料で、介護保険分と後期高齢者支援金分は30年度月額保険料で据え置いてまいりました。令和2年度は国の補助率が従来の1/2に低減されてまいりますが、組合員各位のご協力を賜り、本年も被保険者の皆様が安心してお過ごしいただけますよう、安定した組合運営に努めてまいりますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

新年のご挨拶

神奈川県歯科医師信用組合

理事長 後藤 哲哉



新年明けましておめでとうございます。組合員並びに会員の皆様には平素より当組合に対してご支援、ご協力を賜り役職員一同、厚く御礼申し上げます。

当組合は本年2月28日に創立70年の節目を迎えることとなりました。これは長年にわたり先生方にご愛顧、ご協力をいただいた賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。今後も「歯科医師」の名を掲げる国内唯一の金融機関であることを念頭に置き、金融サービスの充実に努めてまいります所存です。

当組合の業績につきましては、おかげさまでもちまして預金、貸出ともに順調に推移しており、収益の柱となる貸

出金残高は6年連続で増加しているところです。

金融環境に目を向けますと、日本銀行のマイナス金利政策は継続され、金融機関における資金運用収益は低下傾向となっています。さらに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を機としてキャッシュレス化はスピードを速めており、将来の金融機関の役割に変化も予想されるところです。

一方、歯科業界においても、医療機関におけるキャッシュレス化対応や事業承継問題について議論されております。このような環境の中、課題に対して積極的に取り組み、歯科専門の金融機関として財務アドバイスやコンサルティング機能を高めて皆様のニーズに応えられるよう努力してまいりますので今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまのご多幸とご健勝を祈念させていただき年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

株式会社 神歯信栄サービス

代表取締役社長 西野 一紘



新春を寿ぎ謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。会員の皆様には日頃より弊社に対し温かいご理解とご愛顧を頂戴しておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

昨年は憲政史上はじめて天皇陛下が生前退位され、徳仁皇太子が新天皇として即位されました。即位に伴い5月1日には平成から令和へと元号が改まりました。一連の慶事となる皇室行事が春から秋にかけて次々に行われ日本中が祝賀ムードに包まれるなか、多くの国民がこの時代に居合わせた幸せを感じたことでしょう。

令和という元号が、未来への、より豊かで平和な社会の実現を祈念して命名された如く、後世の人々が令和という時代

は良い時代であったと語り継ぐような年月が続くことを願ってやみません。

しかし、華やかなムードが日本全体を覆う中、昨年も自然災害の被害が各地で発生し特に台風15号、19号は関東地方に甚大な被害を与えました。本県でも相模原地区を始め県下各地で多数の被害が報告され、少なからぬ本会会員の診療所や自宅が被害に遭われました。弊社でご契約を頂いている会員の中で両台風による被害届を申告された先生は80件を超えている状況です。風水害のような自然災害による被害は訴える相手がいません。予め自ら守る備えを万全にしておく必要が求められます。多種多様の損害保険のなかでも自然災害に補償の手厚い保険を選ぶ必要があります。

これからも(株)神歯信栄サービスは、地球温暖化が加速する中で頻発する自然災害から自らを守るお手伝いをさせていただきます。